【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【公表番号】特表2010-535893(P2010-535893A)
【公表日】平成22年11月25日(2010.11.25)
【年通号数】公開・登録公報2010-047
【出願番号】特願2010-520075(P2010-520075)
【国際特許分類】
*Ｃ１１Ｄ　7/34　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ１１Ｄ　7/34

【手続補正書】
【提出日】平成23年6月24日(2011.6.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
有機および／または無機汚染物で汚染された硬質表面をクリーニングする方法であって、汚染された硬質表面を水性酸性クリーニングおよび／または消毒剤組成物と接触させることを含み、その改良において、前記組成物が、クリーニング量の少なくとも１種類のポリスルホン酸を含有する方法。
【請求項２】
前記の少なくとも１種類のポリスルホン酸が、メタンジスルホン酸である、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記の少なくとも１種類のポリスルホン酸が、２０重量％未満の量で前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物中に存在する、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記ポリスルホン酸が、エタンジスルホン酸、プロパンジスルホン酸および１，３，６ナフタレントリスルホン酸からなる群から選択される、請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、７未満のｐＨを有する、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、１～５のｐＨを有する、請求項１に記載の方法。
【請求項７】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、１～７のｐＨを有する、請求項１に記載の方法。
【請求項８】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、発泡剤をさらに含有する、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、芳香をさらに含有する、請求項１に記載の方法。

【請求項１０】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、増粘剤をさらに含有する、請求項１に記載の方法。
【請求項１１】
硬質表面用の水性酸性クリーニングおよび／または消毒剤組成物であって、その改良において、前記組成物がクリーニング量の少なくとも１種類のポリスルホン酸を含有する、組成物。
【請求項１２】
前記の少なくとも１種類のポリスルホン酸が、メタンジスルホン酸である、請求項１１に記載の組成物。
【請求項１３】
前記の少なくとも１種類のポリスルホン酸が、２０重量％未満の量で前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物中に存在する、請求項１１に記載の組成物。
【請求項１４】
前記ポリスルホン酸が、エタンジスルホン酸、プロパンジスルホン酸および１，３，６ナフタレントリスルホン酸からなる群から選択される、請求項１１に記載の組成物。
【請求項１５】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、７未満のｐＨを有する、請求項１１に記載の組成物。
【請求項１６】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、１～５のｐＨを有する、請求項１１に記載の組成物。
【請求項１７】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、１～７のｐＨを有する、請求項１１に記載の組成物。
【請求項１８】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、発泡剤をさらに含有する、請求項１１に記載の組成物。
【請求項１９】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、芳香をさらに含有する、請求項１１に記載の組成物。
【請求項２０】
前記水性酸性クリーニングおよび／または消毒組成物が、増粘剤をさらに含有する、請求項１１に記載の組成物。